

Ⅱ－平成13年度東北大学男女共同参画委員会の活動

1：委員会活動（平成13年度）

(1) 委員会開催日程および 主要議題

- | | |
|------------------|--------------------------------------------------------------------|
| 第1回（平成13年6月18日） | ・本委員会設置の経緯（報告）
・今後の取組みについて |
| 第2回（平成13年7月4日） | ・実態調査について
・広報活動について
・相談窓口について
・ワーキンググループの設置について |
| 第3回（平成13年7月23日） | ・部局長アンケート（案）について
・ホームページ、シンポジウムについて
・相談窓口について |
| 第4回（平成13年9月17日） | ・部局アンケート結果について
・職員の旧姓使用について |
| 第5回（平成13年10月22日） | ・部局長アンケート結果について
・教職員アンケート（案）について
・ホームページ(案)について
・相談窓口について |
| 第6回（平成13年11月26日） | ・部局長アンケート結果分析について
・ホームページ開設の報告
・相談窓口について
・単身赴任状況調べについて |
| 第7回（平成14年1月28日） | ・部局長アンケート結果分析について
・教職員アンケート結果について
・シンポジウムについて
・旧姓使用について |
| 第8回（平成14年2月21日） | ・平成13年度男女共同参画委員会報告書
について |
| 第9回（平成14年3月6日） | ・平成13年度男女共同参画委員会報告書
について |

(2) 実態調査WG活動内容

- 7月4日 第2回男女共同参画委員会において、実態調査WG設置
・WGの所掌事項：男女共同参画に関する主要部局の長および教官・職員
の意識調査を平成13年度中に実施し、解析し、報告書にまとめる。
- 7月5日～7月13日
部局長アンケート質問項目について、メール上でWG委員間で協議し、
原案を作成。
- 7月23日 第3回男女共同参画委員会において、WG作成の部局長アンケート
原案を提示。全委員で協議。最終案決定。対象部局選定。
- 7月下旬～9月12日
教員・職員個人アンケートの質問項目について、メールなどでWG委員間
で協議し、原案作成に向けての作業継続。添え文作成の作業。
- 8月6日 31部局の長あてに調査票送付。
- 9月10日 部局長アンケート回収終了。
- 9月17日 第4回男女共同参画委員会において、
・部局長アンケート回答の一部を報告。
・教官・職員個人アンケート質問表原案提示、協議。
・WGへの宿題：次回委員会までに、文章回答の数値化。
教官・職員個人アンケート質問表を修正。
- 9月18日～10月17日
・部局長アンケートについて：メール上でWG委員間で、部局長アン
ケートの文章回答を数値し、機構図分類にしたがって、傾向を検討。
解析文を作成。
- ・この間、教官・職員個人アンケートの質問項目について、9月17日開催の男
女共同参画委員会での宿題とされた修正案作成に向けて、WG委員間で再度協議
し、修正案を作成。
- 10月17日 第5回男女共同参画委員会において、
・部局長文章回答の数値化提示。
・教官・職員個人アンケート修正案提示。
・WGへの宿題：次回委員会までに、部局長アンケート回答の数値化を

機構図にしたがって分類し直す。

10月19日 教官・職員個人アンケート調査表発送。

11月16日 教官・職員個人アンケート調査表回収終了。

11月26日 第6回男女共同参画委員会において、
・教官・職員個人アンケートの解析方法について協議。
・WGへの宿題：次回委員会までに、機構図分類にしたがって比較し、
傾向を出す。

12月上旬 教官・職員個人アンケート集計作業開始。

12月30日 集計完了。

平成14年1月7日～1月23日

WGによる解析作業。中間報告としてまとめる。

1月28日 第7回男女共同参画委員会において、解析結果（中間報告）を提示。
・WGへの宿題：次回委員会までに、部局長アンケート回答解析と教官・
職員個人アンケート回答解析の修正版を提出し、さらに、提言に向け
てのまとめを提出。

1月29日～2月18日

WG全体の解析を微調整し、数値化等、修正・加筆作業。

2月21日 第8回男女共同参画委員会において、WG修正版を提示。

(3) 広報活動WG活動内容

基本的に広報活動WGは辻村（法）、村本（生命）、小松（歯）、田中（工）、大隅（医）の間でメールによる不定期な会議として行った。本年度の活動内容は以下の通りである。

(1) ホームページについて

- ・委員会設立経緯、基本法などについて以下のような内容について東北大学のホームページに掲載した。
 - ①本委員会設置の経緯（総長の巻頭言含む）
 - ②委員会規程・委員名
 - ③基本法
 - ④参考資料（2001年6月時点部局別男女比）
- ・相談窓口が試行的に開設されたことに伴い、相談窓口の主旨、相談のための手続きなどについて掲載した。
- ・シンポジウムの予定が決まったら、そのことをさらに掲載する予定である。

(2) シンポジウムの開催について

- ・委員の間で意見を提出し合い、本委員会での意見も踏まえて、以下のような基本方針で開催内容をさらに具体的に検討することになった。
- ・小規模もしくは中規模のものを学内講堂などにて7月初旬に開催する。
- ・男女共同参画についての理論的な問題を深めるものとして、法的側面、社会学的側面、教育学的側面等についての講演を、学内、もしくは必要であれば学外の関係者に依頼する。
- ・東北大学の各部局の女性男性教員によるパネルディスカッションを行う。

(3) ポスター・パンフレットなどについて

- ・1年目の調査WGの結果を基本法とともに載せた小冊子を作り、シンポジウムの折りに配布するとともに、学生や教官に配る。ポスターはシンポジウムのポスターによって兼ねる。

(4) 相談窓口等WG活動報告

相談窓口WGは、基本的にメールで審議を行った。

- (1) 第1回メール審議 7月9日
WGの名称、WGの目的、当面の具体的検討事項、相談窓口の設置形態及び所掌範囲等について検討した。
- (2) 第2回メール審議 9月9日
相談窓口の立ち上げについて問題の整理を行った
- (3) 第3回メール審議 9月28日
相談窓口の理念について審議するとともに、窓口開設に向けて問題の整理を引き続き行った。
- (4) 第4回メール審議 10月31日
東北大学のHPへの「相談窓口開設案内」文案について審議した。
- (5) 第5回メール審議 11月17日、23日
「相談窓口開設案内」について審議を継続した。
- (6) WG会議開催 11月26日 事務局第2会議室
同日行われた親委員会に提出するホームページへの「相談窓口開設案内」について審議した。
- (7) 第6回メール審議 12月25日
ホームページへの掲載文のほかに、相談ルールと、相談カルテについて審議を行った。
- (8) 第7回メール審議 1月18日
HP掲載文、ルール、カルテについて最終審議を行い確定した。
- (9) 相談員5人の意思統一を図るために相談窓口開設直前打ち合わせ会議を行った。
(1月18日、保健管理センターセミナー室)
- (10) 1月18日付けでHPに相談窓口開設の案内を公表し、予約申し込み受付を開始した。相談室の準備が整わないために、2月15日現在で受付は無い状態となっている。